

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日:2010年 05月 25日

<p>テーマ名</p>	<p>クラウドコンピューティングに関する考察</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>(ITCAテーマ研究会) 企業内ITC / ITガバナンス研究会</p>	
<p>成果物公開URL</p>	<p></p>	
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名) 古川 正紀 電話番号:048-866-7806 e-mail: furukawa-masaki@kmd.biglobe.ne.jp</p>	<p>(担当者氏名) 同左 電話番号: e-mail:</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>従来のコンピュータ利用は、ユーザー(企業、個人など)がコンピュータのハードウェア、ソフトウェア、データなどを、自分自身で保有・管理していたのに対し、クラウドコンピューティングでは「ユーザーはインターネットの向こう側からサービスを受け、サービス利用料金を払う」形になる。</p> <p>ユーザーが用意すべきものは最低限の接続環境(パーソナルコンピュータや携帯情報端末などのクライアント、その上で動くブラウザ、インターネット接続環境など)のみであり、加えてクラウドサービス利用料金を支払う。実際に処理が実行されるコンピュータおよびコンピュータ間のネットワークは、サービスを提供する企業側に設置されており、それらのコンピュータ本体およびネットワークの購入・管理運営費用や蓄積されるデータの管理の手間は軽減される。</p> <p>「短期間で導入可能」「初期投資額が低い」「サービス利用に応じた支払」等々、システム導入のハードルが低いことから、中堅・中小企業にとって福音ともいえる仕組みであるので、ITコーディネータとして、これを如何に活用すべきかを検討・研究することとした。</p> <p>その研究成果を最終的に纏めるにあたり、ITコーディネータの視点から執筆者各自が蓄積してきた技術や見識をもとに、「クラウドコンピューティングについて述べる…」という形式をとらせて頂いた。</p>	
<p>成果物</p>	<p>メンバー8名が、それぞれ自主的な活動で学習・研究し、且つ結果を論文に纏めることで研究会を進め、最終的には下記全メンバーが執筆(途中参加の坂本氏を除く)した論文集として、「クラウドコンピューティングに関する考察」を脱稿した。 執筆者は以下の通り。</p> <p>1)古川 正紀 (0005462001C) 2)久住 昭之 (0035712003C) 3)瀬戸 昭彦 (0065252006C) 4)滝沢 康 (0012552001C) 5)千枝 和行 (0029302004C) 6)牧田 一雄 (0052712005C) 7)山上 幸一 (0049182005C) 8)山崎 直和 (0035252003C)</p>	

* 青字は事務局で記入します。

<p>事務局受付日</p>	<p>2011/4/28</p>
<p>案件番号</p>	<p>S10004</p>